



ふるさと笠松の「ちょっといい話」120号



「名鉄ハイキングで、笠松町のよさをアピール！」

気持ちのよい秋の風が吹き抜けた10月8日に、名鉄ハイキングが笠松町内で行われました。「道徳のまち笠松」推進会議では「ハイキングに参加した町内外の2000人の方々に、心からの「おもてなし」をしたい」と考え、ブースを岐工記念館の前に設営しました。道徳のまちな「おもてなし」の内容は①道徳のまちの活動を紹介する。②情報誌No.114号「岐工記念館特集号」を希望者に配布する。③「道徳のまち」の缶バッジを差し上げる。④飲み物をおもてなしを9時から12時まで実施しました。名鉄笠松駅が所でしたが、そのため、午前中だけで約1000人ほどの大盛況でした。大活躍のボランティアの中学生5人も大喜びでした。



↑ 岐工記念館前でのにぎわいの様子



ブースを訪れた方が「岐工記念館は、天皇が訪問するので建てたのですか？」「岐阜工業高校が維持しているのですか？」などの質問をされましたので、その質問にお答えするのも楽しいふれあいの時間でした。

次回、名鉄ハイキングが行われるときには、今年以上の「おもてなし」をしたいねと、みんなでお話ししました。



飲み物を提供し、体と心を癒していただく。



パンフ渡しをがんばる中学生ボランティアの皆さん